

山科学童野球秋季大会 特別規則と注意事項

1. 代表者会議で説明した事項はチーム全体に徹底させること。
2. 選手登録は、小学生で9名以上20名以内で編成すること。
3. ベンチは、組み合わせ番号の若い方を1塁側とする。
4. ベンチに入れるのは、登録選手、代表、監督、コーチ、スコアラーとする。(帽子着用)
5. A・B・Jチーム編成するチームは、同一選手の**三重登録を認めず**。
単独でチーム編成不可の場合は、合同チーム可。(振興会が承認した場合)
ユニフォームは統一の必要なし、背番号の重複は不可。
6. 同一チームの選手、監督、コーチは同一、同形、同意匠のユニフォーム(帽子、アンダーシャツ、ストッキングを含む)ゴム底スパイクか、運動靴を使用のこと。
7. 背番号は、選手0番から27番、主将は10番、監督は30番、コーチ28・29番とする。
8. 試合開始予定時間30分前までにグラウンドに集合し、メンバー表を作成し(控え選手も記入)球審に提出すること。(試合開始時刻になっても不揃いのチームは棄権扱いとする)
9. 雨天でも日程の都合上グラウンド使用可能な場合は強行することがある。
10. 試合は**6回戦**とし、1時間20分以降新しいイニングには入らない。6回を終了して勝敗の決しない時は最終9名による抽選で決める。尚4回10点、5回以降7点差がある場合はコールドゲームを採用する。(ABJの部優勝戦は除く)
11. Jの部は投手板よりホームベースまでの距離を14mとし、塁間は21mとする。
試合は5回または1時間10分とする。
12. **守備の時間が長い場合(概ね20分)には健康維持を考慮し、審判員の判断で給水タイムを設けることとする(試合時間に入れず)**。
13. 優勝戦は、Aの部 **6回戦**もしくは1時間30分以降、Bの部 **6回戦**もしくは1時間20分以降、Jの部 5回戦もしくは1時間10分以降新しいイニングに入らない。
同点の場合は特別ルール(**一死満塁 継続打者から**)で決着がつくまで二回戦行う。
かつ決着が付かない場合は最終9名による抽選で決める。
14. 捕手は公認のマスク、レガーズ、プロテクター、ヘルメット、ファールカップを着用しなければならない。
15. 打者、走者、次打者、ベースコーチはヘルメットを着用しなければならない。
16. タイムはプレイヤーが要求した時ではなく審判員が認めた時である。
17. 抗議は監督又は当該選手のみである。但し、ルールの適用を誤った時のみとする。
18. 相手チーム及び審判員に対し、暴言、悪口は一切禁止する。
19. 試合中に於ける応援者達の行動、言動は当該チームが一切その責任を負うこと。
20. デッドボール(死球)及びボーク、**申告敬遠**を採用する。
21. 変化球は一切禁止する。(連盟の取決め事項を適用する)
22. 試合開始後、降雨・日没等により中止した時は再試合とする。但し、5回表の攻撃が終了して、後攻チームが勝っている場合は試合成立とする。
23. 大会中に於ける災害、事故については応急処置はするが、その後の処置は当該チームが一切の責任を負うものとし、振興会は一切責任を負わないものとする。
24. 大会参加申し込み提出後は背番号の変更は認めないが、選手の追加は認める。
25. 他の競技規則は2024年公認野球規則及び、全日本軟式野球連盟の内規を適用する。
26. **投球制限は70球(Jの部は60球)とします。自チームで計数して下さい。**